

第3回 先端医療センター Monthly Lecture

多くの研究機関や関連企業が集積し、クラスターとしての体制が整いつつある神戸医療産業都市における次の課題は、意見交流の場を様々な形で作りだし、関係者の縦横の協力関係を構築し、最近の研究開発をめぐる大きな変化に対応する体制を作り上げることです。その一つの試みとして、優れた研究者による講演会を定期的で開催し、交流、協力関係構築のきっかけを提供したいと考えております。学会や交流会は盛んに行われており、最新のトピックスを伺う機会は豊富にあります。優れた研究者の一連の研究の歩みや領域全体の研究の流れを伺う機会は多くはありません。そこで、本レクチャーシリーズでは優れた研究者をお招きし、十分な時間を取って一連のストーリー、考え方、研究に対する思い入れをお話しいたします。

先端医療センター長 鍋島 陽一

日時・場所

2011年9月20日(火) 17:00～18:30

臨床研究情報センター (TRI) 第1研修室

※参加費は無料です。

講師

井村 裕夫先生 財団法人先端医療振興財団 理事長
(元京都大学総長)



講演タイトル

臨床研究とともに歩んだ50年
一更なる革新を目指して一

講演内容

医学の研究は最終的に病気の診断・治療に応用して始めて完了する。従って人を対象とする臨床研究は欠くことができない重要なプロセスであるが、それは必ずしも容易でないことを歴史は示している。20世紀の後半から病気を分子レベルで理解しようとする分子医学が発展し、病気の成因と診断に関する研究は大きく進歩したが、治療の面ではなお多くの課題が残されている。特に最近20年程の間に新しい薬剤の開発が困難となっており、臨床研究の革新が望まれている。今後重要と考えられる点についても私見を述べる。

お申込み

◎参加を希望される方は、事前にEメール (qanda@fbri.org) にて、お名前・ご所属・メールアドレスをお知らせ下さい。

◎当日参加の方も歓迎です。

◎事前申込をいただいた方には、今後の「先端医療センターMonthly Lecture」のご案内をはじめ、当財団からのシンポジウムや講演会等のご案内をお送りさせて頂きたく存じます。連絡不要の方はお手数ですが、その旨お知らせください。

お問い合わせ先

Mail: qanda@fbri.org

TEL: 078-306-0708

主催 財団法人先端医療振興財団
協力 神戸医療産業都市構想研究会